

インド「よいとまけ」物語 09

12月10日、もう中旬に入りました。昨日、Hpの畑にピーナツを植えました。日本ではあり得ませんが、カリフラワー、トマト、チリ等植えているので、やってみました。朝で10度、日中で20度なら育つかも知れませんが、1月はゴーヤの種を植えてみます。

Hpの水田で雪がないので、ゴパールとヤドが陸上スキー？をして遊んでいます。

この後に、Tappatîの原料を植えるそうです。この畑には堆肥らしき物は撒いていませんが、近所の畑は結構撒いていました。材料はなんだか分かりませんが収穫後は堆肥を撒いているようですね。

ホテルが多いのも頷けます。

夕日です →



バガッドとヤドが小麦と肥料を撒いて終わりです。3月に収穫だと言っています。

いよいよ、夕日の下に、出入り口が見えてきました。窓は凹がそうです。

12月11日

工事労働者が食事を取っていると、日本仏教保育協会の人達7人が訪問に来ました。理事長上村映雄さんの一行です。隣の土地、Hpを見学されました。

寄付も頂きました。



こうして、自分たちでチャパティとサブジを毎食作って食べています。チャパティは厚くて、大きいです。さすがに豪快な料理でした。

午前中に東側の壁も完了です。さらに、上へと積み上げが進みます。

